河川堤防の変状検知システム実験結果

(GNSS による検知)

令和3年3月 清水建設株式会社

清水建設株式会社

・GNSS 測位システムの概要

GNSS (Global Navigation Satellite System) 測位とは、測位衛星を4機用いて、位置情報 (X,Y,Z)を取得することを言う。観測したい場所と測位衛星4機との距離をそれぞれ計算し、その4つの距離が交わる点を数学的に割り出すことで観測点のおよその位置がわかる。

測位衛星と観測したい場所までの距離=電波の速度×電波伝搬時間

- ・電波速度=299,792,458m/秒
- ・電波伝搬時間=測位衛星から出た電波が観測点に設置した受信機に届くまでの時間

測位衛星から送信された電波には送信時刻の情報が入っており、送信時刻と観測点に設置した受信機に電波が到着した時刻との差から電波伝搬時間がわかる。計算上は3つの距離情報があれば観測点の位置を特定できるが、受信機側の時刻には誤差が含まれることがあるので、3機のみの衛星では位置情報にズレが生じることがある。そのわずかな誤差補正のため1機の測位衛星の情報を使う。

・GNSS 測位システムの原理

【解析方法】

測位衛星を用いた位置解析は単独測位、相対測位等様々あるが、今回は変位結果の迅速な 出力が要求されるため、RTK(Real-Time-Kinematic)測位を用いた(図 1)。RTK 測位とは 既知点の基準局と未知点の観測局に設置したアンテナで同時に測位衛星からの信号を受信 し、基準局で取得した補正信号を、無線装置等を用いて観測局に転送し、観測局側で即時 に解析し位置を決定する。精度の向上のため、今回は疑似距離ではなく搬送波位相値を採用 した。搬送波位相値を用いると静止測位で最大、波長約 19cm の 100 分の 1 の精度で観測 可能となる。RTK 測位の場合は平面、高さともに誤差 1 cm 程度で位置決定が可能とされて いる。



【GNSS 観測システムの機器構成】

基準局、観測局ともに今回の実験に用いた機器構成は以下の通りである。 アンテナ : ANN-MB-002 周波対応 GPS アンテナ(ublox 社製) 受信機 : F9P(ublox 社製) 機器収納 Box: GR-Box(図 2)

消費電力 :最大 10W、定常時 4~8W





図 2 GR-Box

【解析結果の出力及び通信方法】

基準局、観測局が取得した 1Hz データは LTE にて AWS (アマゾン・Web・サービス) のクラウドに送信し、クラウド内で RTK 解析し、解析結果をブラウザで表示(図3)す る。1Hz データをリアルタイムに AWS に送信し解析・出力した場合、通信遮断によるデ ータ欠損が懸念される。そのため今回の実験では取得データの堅牢保存を優先し、6 分間 毎に取得したデータを圧縮して AWS に送信、保存、解凍、解析する方法を採用した。



図3 観測データの取得から出力までの流れ

図4は今回の実験用に仮設した解析結果の出力ブラウザ、図5はその出力例となっている。6分毎に過去の出力結果に新たな解析結果が反映されグラフ表示される。1Hz データ毎の時刻は GPS 時計で管理、出力される。

	GNSS 動態観測システム 国総研-河川実験	
グラフ画像	添付ファイル: 観測局 1、2、3、4、5、基準局、予備 1、予備 2 それぞれの以下のグ ラフ a. Hrz 箇系列グラフ (_dat.png) b. fix 率グラフ (_fix_rate.png) c. データ点数グラフ (_num_data.png) d. 衛星数グラフ (_num_sat.png)	ダウンロード
csv データ: 位置・高さ	 添付ファイル: 1. 観測局 1のデータ (rov01.csv) 2. 観測局 2のデータ (rov02.csv) 3. 観測局 3のデータ (rov03.csv) 4. 観測局 4のデータ (rov04.csv) 5. 観測局 5のデータ (rov05.csv) 6. 観測局予備 1のデータ (rov_yb1.csv) 7. 観測局予備 2のデータ (rov_yb2.csv) 	ダウンロード





[縦軸;変位量 (mm)、横軸;経過時間 (日本時間)]

	⊟ 5 • ∂				越水実験データ	(観測局①) - Đ				山口 範洋 8			
7	アイルホーム	挿入 ページレイ	アウト 数式	データ 校開	表示 ヘルプ	♀ 何をしますか						月共	Ħ
貼り	● み ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	潮ゴシック B I <u>U</u> + 日 + フォント	• 11 • A . • ▲ • ∰	A [*] ≡ ≡ ≡ • ≡ ≡ ≡ 5 R2	≫- ® == =- ≣ 5	標準 ☞ - % , ☆ 数値	•	■条件付き ■テーブルと ■セルのスタ ス	書式・ して書式設定・ 9イル・ タイル	翻挿入・	 		~
F	7 *	: × ✓ fx											~
		A	в	С	D	E		F	G	н	1 (1)		J 🖻
1	観測日	時 (GPS時間)	経過秒数	X2[m]	Y2[m]	H(標高)[m]							7
2	2021/02/0	3-11:54:00.000000	2861640	-134.3869221	-89.10503563	29.327							
3	2021/02/0	3-11:54:01.000000	2861641	-134.3884663	-89.10359850	29.3265							
4	2021/02/0	3-11:54:02.000000	2861642	-134.3867951	-89.10240811	29.3318							
5	2021/02/0	3-11:54:03.000000	2861643	-134.3874557	-89.10064071	29.3316							
6	2021/02/0	3-11:54:04.000000	2861644	-134.3878694	-89.10116876	29.3294							
7	2021/02/0	3-11:54:05.000000	2861645	-134.3858552	-89.10280367	29.3331							
8	2021/02/0	3-11:54:06.000000	2861646	-134.3890071	-89.10124318	29.3302		-					
9	2021/02/0	3-11:54:07.000000	2861647	-134.388588	-89.09918543	29.3360							
10	2021/02/0	3-11:54:08.000000	2861648	-134.3867371	-89.10262404	29.3297							
11	2021/02/0	3-11:54:09.000000	2861649	-134.3860475	-89.10174395	29.3303							
12	2021/02/0	3-11:54:10.000000	2861650	-134.3869494	-89.10166231	29.3256							-
	3C - 2	越水実験データ(観測	局①) (+))				4					F
海	備完了								E	e e		+ 100	96

図5 解析結果の出力例

(観測場所に適した設定での解析を行う前の時系列グラフ及び CSV ファイル等)

【使用電源】

本システムは AC100-240V の電源で稼働する。今回は国土技術政策総合研究所に準備いただいた電工ドラム(図 6)の AC100 電源を利用した。



図6 電工ドラム(黄色の丸)

【技術の特徴】

・当社独自のアルゴリズムを用いた GNSS 測位システムの採用

一般に GNSS を用いた測位は、仰角 15°以上で上空 360°が見渡せるオープンスカイ 環境でのみ利用される。弊社が新たに開発した GNSS 観測機器は、小型・低コスト・高 精度な機器構成であり、解析アルゴリズムは、構造物(例えばビル)の壁面に取り付けて も計測可能な新技術である。既に様々な土木現場の急峻な法面監視、土留め監視にも採用 実績があることから、急峻な法面を持つ河川堤防の監視にも活用可能と考えられる。

・基準局について

観測には基準点と観測局が必要となる。基準局を堤防近傍に設置し、浸水した場合は観 測が困難となるため、国土技術政策総合研究所の管轄する機関や河川管理事務所等の屋 上に設置することで観測を安定させる。基準局1点につき、半径10km以内にある全ての 観測局のRTK測位(観測)が昼夜を問わず可能となる。また、本システムは、IP55の防 水性能を満たしており、豪雨でも問題は生じない(既に現場で実証済み)。台風通過時の、 測位衛星の電波遅延の影響も受けない。

・モニタリング

GNSS 測位は変位の検出のみならず位置を特定する機能も有しており、崩壊した堤防 の位置の特定が容易となる。基準点設置時の初期座標をセミダイナミック補正し、測地座 標に変換することで、国土地理院地図等への反映も可能である。今回実験に参加した企業、 技術においてもその観測システムの設置場所の特定にも本GNSS機器は活用可能である。

・異常検知について

今回の実験において、GNSS 測位(RTK)は傾斜や堤防の崩壊(機器設置個所)を同時 刻に検知することができた。GPS 時計で時刻も管理しており、秒単位での異常検知も出 力可能となる。

・水中での利用について

GNSS 測位は水中を電波が透過しないため、水中での測位は困難である。観測機器が平 常稼働している場合はリアルタイムの FIX 解が得られるが、水位が上がり、観測局に水 をかぶる状況になると FIX 解の他に Float 解が混在し、水位の上昇とともに Float 解は増 え、最終的に水をかぶった段階で解が得られなくなる。一方、この特徴を生かすことで、 越水状況を知るための水位計として活用することも可能だが、LTE 等による通信は困難 となる可能性がある。尚、システム配置にもよるが、耐水性のバッテリーの追加搭載が必 要と考える。 ・出力画面について

既に様々な現場で本システムを採用し、出力画面として、図 7 のような時系列グラフ や、アンテナ中心位置が設置当初からどちらにどの程度変位しているかを表示させるこ とができ、一般の方でも異常を客観的に理解できる。図 7 は実際の現場の法面や土留め の動態観測で使用している出力例である。また、閾値を設定し傾斜等が発生した場合にメ ールや、監視システム等にアラートを送信することも可能である。



図7 時系列グラフ、XY 平面グラフ (法面測位等で用いている出力例)

【現場実装で想定する配置方法】

・導入条件

導入コストは以下の条件で想定し、条件から外れる場合は別途協議・決定するものとする。

- ・電源 100V~240V の供給が可能
- ・観測点は、5 箇所/100m
- ・モニタリング方法は、既存の手法を用いる(参考:図7)
- ・維持管理については、盗難、破損等を考慮しない
- ・基準局は別途設置
- ・通信料は別途 (データ量による)
- ・交通費、宿泊費は別途

・設置導入コスト

100mあたりの設置導入コストの想定 材工費用:約 290 万円

・維持管理コスト

1 システムの維持管理コストの想定
A P I システム使用料:24 万円/年間(1 システム)
保守契約サービス:12 万円/年間(100mを想定)
※保守契約サービス:システムに故障等があった場合に対応するサービス

【観測システムの管理、維持管理方法】

観測局のヘルスチェックは、遠隔で観測できる。また、温湿度・気圧センサーを搭載し、 台風が近接した際の急激な気圧低下や湿度上昇も検知することが可能である。維持管理方 法は、設置後、データをモニタリングし、データの喪失や異常値などがあった場合の点検、 及び故障時の部品交換程度を想定しているが、歩行者等の第3者が機器を横転させた、盗 難にあった際には個別の対応が必要となる。機器が横転した場合は、電源が供給されていれ ばアンテナの傾斜等からその状態を推察することが可能である。

【実験の計画】

・実験の目的

今回の実験の目的は「堤防自体の構造的な変状の検知」である。そのためプラスチック杭 や単管上部に取付けた観測局を堤防天端から深さ 20cm に埋込み、水流に伴う天端の侵食が 深さ 20cm 前後に到達した段階、もしくは 20cm を超える深い部分で変状が発生した場合に 傾斜や転倒等どのような挙動を示すか、その変状を正しく捉えられるかの確認を行う。

・実験日時、場所

実験日時

·越水実験 2021年2月3日 13時~

·侵食実験 2021年2月4日 13時~

実験場所

·国土技術政策総合研究所、実験水路

・システムの配置

基準局は実験者用仮設小屋の屋根上に設置した。基準局及び観測局の全体配置場所を図 8 に示す。



・越水実験における観測局の配置場所

越水実験時の観測局の配置場所を図9に示す(図面では赤丸位置)。プラスチック杭の上部に観測局1、2を取付け、堤防法面天端(平坦部)の中央部に均等距離に設置した。プラスチック杭の埋込み長は天端から20cmである。観測局は転落時に流されないよう、紐で縛り手すりに固定した。



図9 観測局の配置場所



図9 観測局の配置場所

・侵食実験における観測局の配置場所

(1) 一般部

侵食実験(一般部)の観測局5の設置場所を図10に示す(写真、図面の赤丸)。単管の 中心部は法肩から15cm手すり寄りとした。









図10 観測局5

(2) 一般部·追加実験

上記(1)で観測局の傾斜や横転が観測されなかったため、当初設置を予定していたプ ラスチック杭に観測局6①を取り付け、残された法面天端に急遽設置した(図11)。設置 場所は手すりから20cm 流水側、埋込み長は20cm である。









図11 観測局6①

(3) 橋台部

侵食実験(橋台部)の観測局4の設置場所を図12に示す(写真、図面の赤丸)。コンク リート製橋台への単管・観測局は図12の治具を使用した。



図12 観測局4及び橋台への取付け治具

(4) 橋台/護岸部

侵食実験(橋台/護岸部)の観測局3の写真を図13に示す(写真、図面の赤丸)。コン クリート製橋台への単管・観測局は橋台部と同様の治具を使用した。







図13 観測局3及び橋台への取付け治具

クランプ (橋台へ固定)

【実験結果】

・用語の説明

○時系列変位グラフで示す東西・南北・高さ方向の定義

測位で得られる位置データは緯度・経度・楕円体高で出力されるため、現地におけ る方角を定義する。図 14 は国の定める測地座標系(平面図直角座標系)である。真 北が X、真東が Y である。つくば地域は 9 系に属する。



図 14 平面図直角座標系

図 15 は実験前に入手した水路 P1、P2 の平面図直角座標系の座標である。この水路 の長手方向(図 15 の P1、P2)を実際の平面図直角座標系にプロットすると、図 16 に 示すように 11.513deg の傾きがあることがわかる。そこで観測局の傾斜や横転方向を 視覚的にも解釈できるよう、本実験施設用のローカル平面図直角座標系として、P1 と P2 を結ぶ線と方向を X2 (南北)、それに直行する方向を Y2 (東西) と定義する。 X2 のプラスが北、マイナスが南、Y2 のプラスが東、マイナスが西となる。また、観 測点の時系列変位グラフは縦軸が変位量、横軸が経過時間であるが、観測点の初期設 置座標を変位量 0 と定義する。



図 15 水路の方向



図 16 平面直角座標系における水路の傾き (θ =11.513deg)

・実験結果

(1) 越水実験(観測局1)

観測局1は図17(右)のように、越水に伴う堤内地側の侵食が進み天端部の一部の崩壊(図17の赤丸)とともに堤内地側に転落、水没した。図18のように、観測局1は転落と同時に堤内地側に流されないよう紐を引き上げ、手すりに固定したが、アンテナは水没した状態にあった。

図 19a~c は観測局 1 の時系列変位グラフである。堤内地側、侵食実験施設側への沈下 が確認されている。その時間は、図 20 の CSV ファイルより 14 時 1 分 41 秒である。写 真内の時計は 14 時 1 分 22 秒を示している。その時間以降はアンテナが水没したため、 図 21 の通り測位解はフロート解に変化している。図 21 では FIX 解が 1、フロート解が 2 で表示される。電波は水中を透過しないため、アンテナの水没がフロート解となった原 因である。



図 17 観測局1の挙動 (左;転落前、右;転落時)



図18 観測局1(転落後、引き上げ固定)





図 19a 観測局1の東西方向時系列変位グラフ (上;全観測時間の結果、下;変位観測時の拡大グラフ)











図 19c 観測局1の標高時系列変位グラフ (上;全観測時間の結果、下;変位観測時の拡大グラフ)

自動保			$\mathcal{P} \cdot \mathcal{Q} \cdot \mathfrak{g}$				越水実験	(観測局		Excel				ш 🖬	鲜 囨		
ファイル	木一厶	挿入	描画	ページ レイアウト	数式	データ 校園	表示	ヘルプ	Acrobat	t P§	尾行したい	作業を入力して	ください		t	3 共有	אכאב ב
H	Ħ	A	ī		+ <i>r</i> _	O			+=		*	日分割	自立並べて比	皎	P		
標準	改パージ	ページ	コーザー設定			× L100 ズーム 100%	産択範囲に合わせ	て新	しいウインドウ	熱列ウ	インドウ枠の	□表示しない	101同時にスタ	70 ール	ウインドウ	レート	
:	プレビュー	レイアウト	のビュー	☑ 目盛線 ☑ 見じ	60		拡大/縮小		を開く		固定、	西表示	003<50 m	の位置を元に戻す	切り替え	• •	
	ブッ	りの表示		表示		X	-Д					ウインドウ				マクロ	
G7667	*	: >	< √ fx														,
		А		В		С	D		E	-		F	G		н		1 5
7649 20	21/02/0)3-14:01	L:31.000000	76	650	0.0038143	1 -0.00	281798		0.0168	3		9				
7650 20	21/02/0	03-14:01	L:32.000000	76	651	0.0047215	7 -0.00	136993		-0.0222	2						
7651 20	21/02/0	03-14:01	L:33.000000	76	652	0.0033660	9 -0.00	201231		-0.0141							
7652 203	21/02/0	03-14:03	1:34.000000	76	53	0.0045637	-0.00	164393		-0.0191							
7653 20	21/02/0	03-14:01	L:35.000000	76	654	0.0041681	5 -0.00	258389		-0.0191							
7654 20	21/02/0	03-14:01	L:36.000000	76	655	0.0050881	-0.00	307744		-0.0171							
7655 20	21/02/0	03-14:01	1:37.000000	76	656	0.0052442	-0.00	331334		-0.0205	5						
7656 20	21/02/0	03-14:01	1:38.000000	76	657	0.0090385	6 -0.00	622931		-0.0278	3						
7657 20	21/02/0	03-14:01	1:39.000000	76	658	0.0054021	7 -0.00	855023		-0.0205	ō						
7658 20	21/02/0	03-14:01	L:40.000000	76	559	0.0021110	0 -0.03	523015		-0.0130)						
7659 203	21/02/0	03-14:01	L:41.000000	76	60	-0.1858851	1 -0.56	088471		-0.1098	3						
7660 20	21/02/0	03-14:05	5:12.000000	78	371	0.0111853	3 3.77:	20E-05		0.0156	5						
7661 20	21/02/0	03-14:05	5:18.000000	78	377	0.0111853	3 0.55	095493		0.0156	;						
7662 20	21/02/0)3-14:0	/:17.000000	75	996	0.0111853	3 3.77	20E-05		0.0156)						
7663 20	21/02/0	03-14:0	7:42.000000	80	121	0.0111853	3 1.31	83E-01		0.0156							
7664 20.	21/02/0)3-14:10	04.000000	85	23	0.0111853	3 3.77	20E-05		0.0156)						
()	2	021020	3_1559_rov0)1_avg6sec_z10	0.5	÷	a	205-05		0.0150							Þ
														=	巴	-	+ 100%
						0.011	,				, -		1,00101				
				図 20)	CSV 7	アイノ	レよ	り担	出し	ノた	发怔朗	測時	间			
🧾 親	视局 1.txt	t - メモ帳														-	
ファイル	√(F) 編集(E) 書式(C	D) 表示(V) ヘル	プ(H)													()
2021	-02-031	04:54:	00+00:00+00	elapsed (sec 2868840, 00) la 0 31	titude(deg) 6.114282786	ong i tude (de 140, 0670181	g) he 83	eight (m) 69,6148	0 ns 1 20	sdn (i 0, 00	m) sde(m) 51 0.0039	sdu (m) 0, 0158	sdne (m) -0, 0027	sdeu (m) 0. 0045	sdun (m) -0, 0076	age (s) -0, 00
2021	-02-031	04:54:	01+00:00	2868841.00	0 3	6. 114282798	140.0670181	88 87	69.6129	1 20	0.00	51 0.0039	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54:	03+00:00	2868843.00	0 3	6. 114282797	140. 0670181	94	69. 6142	1 20	0.00	51 0.0039	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	[04:54: [04:54:	04+00:00 05+00:00	2868844.00 2868845.00	0 30 0 30	6.114282798 6.114282802	140.0670181 140.0670181	85 90	69.6140 69.6130	1 20	0.00	51 0.0039 51 0.0039	0.0158	-0.0027 -0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00 -0.00
2021	-02-031	04:54:	06+00:00	2868846.00	0 3	6. 114282790	140.0670181	91	69.6151	1 20	0.00	51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	104:54: 104:54:	07+00:00	2868848.00	0 3	6. 114282799	140. 0670181	83	69.6084	1 20	0.00	51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54:	09+00:00	2868849.00	0 30	6.114282808 6.114282806	140.0670181	75	69.6099 69.6122	1 20	0.00	51 0.0040 51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54:	11+00:00	2868851.00	0 3	6. 114282789	140. 0670181	78	69.6189	1 20	0.00	51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54: 04:54:	12+00:00 13+00:00	2868852.00 2868853.00	0 30 0 30	6.114282811 6.114282794	140.0670181 140.0670181	94 95	69.6098 69.6149	1 20	0.00	51 0.0040 51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00 -0.00
2021	-02-031	04:54:	14+00:00	2868854.00	0 3	6. 114282814	140.0670181	86	69.6035	1 20	0.00	51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	104:54: 104:54:	16+00:00	2868855.00	0 3	6. 114282797 6. 114282806	140.0670181	91 93	69.6096	1 20	0.00	51 0.0040 51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54:	17+00:00	2868857.00	0 3	6. 114282791	140.0670181	84	69.6127	1 20	0.00	51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54: 04:54:	19+00:00	2868859.00	0 3	6. 114282775	140. 0670181	97 94	69.6127	1 20	0.00	51 0.0040 51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54:	20+00:00	2868860.00	0 30	6.114282776	140.0670181	78 87	69.6177	1 20	0.00	51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-02-031	04:54:	22+00:00	2868862.00	0 3	6. 114282802	140. 0670181	88	69.6129	1 20	0.00	51 0.0040	0.0158	-0.0027	0.0045	-0.0076	-0.00
2021	-03-031	101.21.	337UU · UU	J060063 UU	0 21	6 11/000700	140 0670101	05	0.003 03	1 20	0 00	E1 0 0040	0 0160	_0 0027	0 0045	_0 0076	_0 00
								(日	コ略)								
			.,														
2021	-02-031	[05:01:	33+00:00	2869293.00	0 3	6. 114282788	140.0670182	62	69.6125	1 19	0.00	56 0.0041	0.0157	-0.0031	0.0049	-0.0079	-0.00
2021	-02-03	05:01:	35+00:00	2869295.00	0 3	6. 114282796	140. 0670182	66	69.6075	1 19	0.00	56 0.0041	0.0157	-0.0031	0.0049	-0.0079	-0.00
2021	-02-031	[05:01: [05:01:	36+00:00 37+00:00	2869296.00 2869297.00	03	6.114282805 6.114282807	140.0670182 140.0670182	70	69.6095 69.6061	1 19	0.00	56 0.0041 56 0.0041	0.0157	-0.0031 -0.0031	0.0049	-0.0079	-0.00
2021	-02-031	05:01:	38+00:00	2869298.00	0 3	6. 114282845	140.0670182	95	69. 5988	1 19	0.00	56 0.0041	0.0157	-0.0031	0.0049	-0.0079	-0.00
2021	-02-03	105:01: 105:01:	40+00:00 40+00:00	2869299.00	0 3	6. 114282817	140.0670183	29	69.6061	1 19	0.00	56 0.0041 56 0.0041	0.0157	-0.0031	0.0049	-0.0079	-0.00
2021	-02-031	05:01:	41+00:00	2869301.00	0 3	6. 114282109	140.0670247	62	69.5168	1 16	0.00	57 0.0049	0.0162	-0.0032	0.0055	-0.0080	-0.01
2021	-02-031	105:02: 105:02:	40+00:00	2869360.00	0 3	6. 114316360	140. 0670315	22	70. 6997	2 15	0.61	75 0.4578	2. 9862	-0. 2215	0. 4104	-0.9438	-0.01
2021	-02-031	[05:02: [05:02:	42+00:00	2869362.00	0 3	6. 114306161	140.0670238	53	72.8475	2 13	0.65	70 0.5346	2.0072	-0.0851	0.3214	-0.9743	-0.01
2021	-02-031	05:02:	44+00:00	2869364.00	0 3	6. 114318144	140.0670122	64	73.0026	2 14	0.65	92 0. 4381	1.6323	-0. 3553	0.5105	-0. 7599	-0.01
2021 2021	-02-031	105:02: 105:02:	47+00:00 48+00:00	2869367.00 2869368.00	03 03	6.114270543 6.114267631	140.0670454 140.0670577	21 45	90.9611 80.1886	2 9	1.37	29 1.2796 20 0.7064	7.2717	-0.5585 -0.7033	-2.5242	-2.0230	-0.01 -0.01
2021	-02-031	05:02:	49+00:00	2869369.00	0 3	6. 114296348	140.0670050	74	91.3427	2 10	1.21	0.7701	3. 7983	-0. 4505	0.3823	-2.0314	-0.01
2021	-02-03	105:02: 105:02:	50+00:00	2869370.00	0 3	6. 114292675	140. 0669983	09	91. 2394 89. 7371	2 1	1.18	39 0.6672 69 0.5827	3. 7715	-0. 3010	-0. 1739	-1. 9985	-0.01
2021	-02-031	05:02:	52+00:00	2869372.00	0 3	6. 114287031	140.0670052	41	92.2170	2 11	1.17	39 0. 6381	3. 7501	-0.2448	0. 2225	-2.0155	-0.01
2021	-02-031	105:02: 105:02:	53+00:00 54+00:00	2869374.00	0 3	6. 114288398	140. 0670056	48	94. 1555	2 10	1. 18	29 0. 5245	3, 7735	-0. 2149	-0. 2151	-1. 9996	-0.01
2021	-02-031	05:02:	56+00:00 57+00:00	2869376.00	0 3	6.114283346	140.0670208	58	92.4870	2 1	1.17	42 0.5074	3.7505	-0.2031	0.1044	-2.0160	-0.01
2021	-02-031	05:02:	58+00:00	2869378.00	ŭ 3	6. 114291765	140. 0670053	26	90. 3425	2 10	1.20	29 0. 7198	3. 7916	-0. 3806	0. 4804	-2. 0519	-0.01
2021 2021	-02-031	105:02: 105:03	59+00:00 00+00:00	2869379.00 2869380.00	U 3 0 3	6.114342064 6.114344552	140.0670204	05 17	/1.3204 70.5401	2 2	0.75	19 0.5070 99 0.5438	2.3559 2.3585	-0.1599 -0.2173	-0.1996	-1. 1968	-0.01 -0.01
2021	-02-031	05:03:	01+00:00	2869381.00	0 3	6. 114344677	140.0670194	85	70.0437	2 2	0.75	21 0.5070	2. 3559	-0.1602	-0.1991	-1. 1971	-0.01
2021	-02-03	r05:03:	03+00:00	2869382.00	0 3	6. 114340255	140. 0670302	87	71. 7658	2 3	0.94	51 0. 4508	3. 7539	-0. 2458	0. 2235	-1. 5855	-0.01

図 21 14 時 01 分 22 秒以降の測位解の変化(UTC 時間) (変位発生後、FIX 解表示の 1 がフロート解表示の 2 に変化)

- (2) 越水実験(観測局2)観測局2の挙動を図22に示す。
 - a. 観測局1が設置されていた天端部の一部が崩壊後、上下流の越流水が集中し、天端部の崩壊が加速され、決壊口が拡大。



b. 上下流の越流水がさらに増え、天端部の侵食・崩壊が加速された後、観測局2 周辺の天端部は割れ、堤内地側に傾斜し沈下。



c. 観測局2を設置した天端部の崩壊とともに、観測局2は瞬時(1秒未満)に堤内 地側に転落・水没



図 22 観測局 2 の挙動

図 23a~c は観測局 2 の時系列変位グラフである。図 22「観測局 2 の挙動の b 項」で説明した堤内地側への傾斜・沈下(変状)が確認されている。一方、図 22「観測局 2 の挙動の c 項」で説明した観測局 2 は転落前の西側への小さな変位は確認されたものの、転落・水没は 1 秒未満であったため、水没時の測位解が出せず、転落の変位(高さ)をグラフに表現することはできなかった。

今回1Hzでデータを取得したが、1秒以内での転落・水没等の状況把握には、プラス チック杭の長さを伸ばして水没までの時間を稼ぎその挙動を把握する、もしくは1Hz以 上でのデータ取得が必要であることがわかった。

変位が観測された時間は、図 24 の CSV ファイルから、「図 22、観測局 2 の挙動の b 項」が 14 時 43 分 5 秒、「図 22、観測局 2 の挙動の c 項」が 14 時 50 分 52 秒である。写 真内の時計は「図 22、観測局 2 の挙動の c 項」の挙動が現れた時間、14 時 50 分 33 秒を 示している。

図 25 は「図 22、観測局2の挙動のc項」の発生した時間前後の測位解が示されている。観測局2の水没とともに測位解はフロート解に変化している。





図 23a 観測局 2 の東西方向時系列変位グラフ (上;全観測時間の結果、下;変位観測時の拡大グラフ)













- E#	MAG (0 . 17	89	- Q ² - 9	ß			越水実験(観測局 2) .xlsx - Excel	0		<u> </u>	山口 範洋	65			×
ファイル	*	挿入	描画	ページ レイアウト	数三	式 データ 校閲	表示 ヘルプ	Acrobat 🔎 🖇	実行したい 作	業を入力して	こください		ß	共有	P 3)	イント
E National		游ゴシック B I U	• (m)	* 11 * A*	A* 3	= = = »×- 8 = = = = = =	標準	- 	7-31121	110	囲挿入・ 割前除・	Σ A 図 Z 必 基本構成				
71147	© 75−5 ⊓	_	7#1		1	1215	教師	(100 100) 書式・	吉式設定。	29474-2	178.	* フィルター・ 編集	選択▼			
						HULL	NA BE		~~~~~~		- C/P	98.45				
F101	21 *	~	✓ Ji													×
		A		В		C	D	E		F	G		Н		1	1
10116	2021/02/	03-14:42:5	7.00000	0	10137	-0.01852305	-0.01378030	-0.010	03							
10117	2021/02/	03-14:42:5	8.00000	0	10138	-0.01876074	-0.01444626	-0.016	65							
10118	2021/02/	03-14:42:5	9.00000	0	10139	-0.01836518	-0.01350630	-0.020	01							
10119	2021/02/	03-14:43:0	0.00000	0	10140	-0.02062613	-0.01508684	-0.017	74							
10120	2021/02/	03-14:43:0	1.00000	0	10141	-0.02062432	-0.01457694	-0.019	95							
10121	2021/02/	03-14:43:0	2.00000	10	10142	-0.01736534	-0.01360789	-0.013	32							
10122	2021/02/	03-14:43:0	3.00000	10	101 <mark>4</mark> 3	-0.02084206	-0.01514491	-0.012	27							
10123	2021/02/	03-14:43:0	4.00000	10	10144	-0.02260585	-0.01478566	-0.016	53							
10124	2021/02/	03-14:43:0	5.00000	10	10145	-0.31801536	-0.19699180	-0.181	17							
10125	2021/02/	03-14:43:0	6.00000	0	10146	-0.27484737	-0.14087857	-0.164	18							
10126	2021/02/	03-14:43:0	7.00000	0	10147	-0.26977556	-0.14303421	-0.173	34							
10127	2021/02/	03-14:43:0	8.00000	0	10148	-0.27048686	-0.14452218	-0.168	34							
10128	2021/02/	03-14:43:0	9.00000	0	10149	-0.27326683	-0.14313952	-0.165	58							
10129	2021/02/	03-14:43:1	0.00000	10	10150	-0.27060480	-0.14460021	-0.179	94							
10130	2021/02/	03-14:43:1	1.00000	0	10151	-0.27230690	-0.14343709	-0.169	96							
10131	2021/02/	03-14:43:1	2.00000	0	10152	-0.27237220	-0.14526075	-0.169	90							
10132	2021/02/	03-14-43-1	3.00000	0	10153	-0.27070821	-0.14610995	-0.171	18	_			12			
	20	210203_13	39_10VC	(+)					\$ N 4			2000 (SEE) (200	11			

Denter 🐨 🗄 🤊 · 🤆 - 8	* *		越水実験(観測局2)	.xlsx - Excel		-0	山口 範洋	B -	a /	×
ファイル <u>ホーム</u> 挿入 描画 ペ	ージレイアウト 数式	データ 校開	表示 ヘルプ	Acrobat 2 実行	うしたい作業を入力して	ください		台 共有	ועאבים	1
	• 11 • A* A* ≡ 2 • <u>A</u> • 7 • ≡	≡ = »· 8	標準 1119 - % 9 1	・ 	ーブルとして せルの 記録定、スタイル、	 	∑ · A マ ・ Z ・ Z ・ ブ ・ Z ・ Z ・ Z ・ Z ・ Z ・ Z ・ Z ・ Z	● 検索と 選択 *		
クリップボード ッ フォント	15	配置	で 数値	n	スタイル	セル	網集			^
110599 - : × ✓ fx										*
A	В	С	D	E	F	G	1	4	I.	
10584 2021/02/03-14:50:45.000000	10605	-0.09796234	0.00505366	-0.1222						
10585 2021/02/03-14:50:46.000000	10606	-0.08703653	-0.00543808	-0.1430						
10586 2021/02/03-14:50:47.000000	10607	-0.08377925	-0.01048983	-0.1343						
10587 2021/02/03-14:50:48.000000	10608	-0.08497507	-0.01034831	-0.1305						
10588 2021/02/03-14:50:49.000000	10609	-0.08507486	-0.01083825	-0.1199						
10589 2021/02/03-14:50:50.000000	10610	-0.08394795	-0.01382322	-0.1286						
10590 2021/02/03-14:50:51.000000	10611	-0.08261413	-0.01929962	-0.1370						
10591 2021/02/03-14:50:52.000000	10612	-0.10226670	-0.08622373	-0.1553						
10592 2021/02/03-14:51:07.000000	10627	-0.01037353	-0.00610202	-0.0045						
10593 2021/02/03-14:52:04.000000	10684	-0.01037353	-0.00610202	-0.0045						
10594 2021/02/03-14:52:33.000000	10713	-0.01037353	-0.00610202	1.7664						
10595 2021/02/03-14:52:34.000000	10714	-0.01037353	-0.00610202	1.7215						
10596 2021/02/03-14:52:35.000000	10715	-0.01037353	-0.00610202	1.7024						
10597 2021/02/03-14:52:36.000000	10716	-0.01037353	-0.00610202	1.688						
10598 2021/02/03-14:52:37.000000	10717	-0.01037353	-0.00610202	1.6599				_		
10599 2021/02/03-14:52:38.000000	10718	-0.01037353	-0.00610202	1.6687						
10600 2021/02/03-14·52·39.000000 20210203_1559_rov02	(+) 10719	-0.01037353	-0.00610202	1.7003	4				1	+

図 24 CSV ファイルより抽出した変位及び水没観測時間

$\begin{array}{c} \$\\ 2021-02-03105:42:00+00:00\\ 2021-02-03105:42:01+00:00\\ 2021-02-03105:42:02+00:100\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:03+00:00\\ 2021-02-03105:42:13+00:00\\ 2021-02-03105:42:2:14+00:00\\ 2021-02-0$	elapsed (sec) lati tude (deg 2871720.000 36.1143017 2871721.000 36.1143017 2871721.000 36.1143017 2871722.000 36.1143017 2871723.000 36.1143017 2871725.000 36.1143017 2871725.000 36.1143017 2871725.000 36.1143017 2871725.000 36.1143017 2871727.000 36.1143017 2871728.000 36.1143017 2871729.000 36.1143017 2871729.000 36.1143017 2871730.000 36.1143017 2871730.000 36.1143017 2871730.000 36.1143017 2871730.000 36.1143017 2871730.000 36.1143017 2871730.000 36.1143017 2871731.000 36.1143017 2871730.000 36.1143017 2871740.000 36.1143016 2871741.000 36.1143016	 Dongi tude (deg) Ha (40, 67 0/23766 Ha (40, 67 0/23766 Ha (40, 67 0/23768 Ha (40, 67 0/23776 Ha (40, 67 0/23771 	height(m) 0 69.6104 1 69.6118 1 69.6075 1 69.6109 1 69.6109 1 69.6108 1 69.6086 1 69.6076 1 69.6076 1 69.6078 1 69.6086 1 69.6083 1 69.6083 1 69.6083 1 69.6083 1 69.6182 1 69.6182 1 69.6182 1 69.6187 1 69.6137 1 69.	ns 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	sdn (m) 0.0046	sde (m) 0.0038 0.003	sdu (m) 0. 0123 0. 012	sdne (m) -0.0013 -0.00	sdeu (m) -0.0013 -0	sdun (m) -0.0041 -0.00041 -0.0041 -	age (s) -0.01 -0.0
2021 02 00100-00-00-00-00	2072200.000 00.114000000	140.001020110	て 単百ノ	10	0.0004	v. vu tt	v. v101	V. VV2V	0.0007	0.0077	V. VI
$\begin{array}{c} 2021-02-03105: 50: 39-00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 40-00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 41+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 42+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 43+00: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 50: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 50: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 50: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 50: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 50: 0.0\\ 2021-02-03105: 50: 50: 0.0\\ 2021-02-03105: 51: 0.0\\ 2021-02-031$	2872239.000 36.114300957 2872240.000 36.11430097 2872241.000 36.114300967 2872242.000 36.114300967 2872242.000 36.114300967 2872242.000 36.114300967 2872244.000 36.11430097 2872245.000 36.11430197 2872244.000 36.11430197 2872245.000 36.11430112 2872247.000 36.11430112 2872249.000 36.11430113 2872252.000 36.11430113 2872252.000 36.11430113 2872252.000 36.11430113 2872250.000 36.11430116 2872250.000 36.11430112 2872260.000 36.11430112 2872267.000 36.11431700 2872267.000 36.11431700 2872270.000 36.11431740 2872270.000 36.11432141 2872271.0000 36.11432144 2872271.0000 36.11432144 2872274.0000 36.11432144 2872274.0000 36.11432144 2872275.0000	140. 067023757 140. 067023757 140. 067023757 140. 067023753 140. 067023753 140. 067023753 140. 067023770 140. 067023770 140. 067023849 140. 067023849 140. 067023849 140. 067023849 140. 067023849 140. 067023849 140. 067023844 140. 067023844 140. 067023849 140. 067023849 140. 067023849 140. 067023849 140. 06701569 140. 06701569 140. 067031852 140. 067	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1	$\begin{array}{c} 0.\ 0054\\ 0.\ 0.\ 0054\\ 0.\ 0.\ 0054\\ 0.\ 0.\ 0054\\ 0.\ 0.\ 0.\ 0054\\ 0.\ 0.\ 0.\ 0.\ 0.\ 0.\ 0.\ 0.\ 0.\ 0.\$	$\begin{array}{c} 0.0044\\ 0.5585\\ 0.5585\\ 0.5565\\ 0.5565\\ 0.5565\\ 0.5516\\ 0.5516\\ 0.5516\\ 0.5106\\$	$\begin{array}{c} 0, 0 9 1 \\ 0, 0 1 \\ 0, $	$\begin{array}{c} 0.0023\\$	$\begin{array}{c} -0.\ 0057\\ -0.\$	$\begin{array}{c} -0.\ 0077\\ -0.\$	$\begin{array}{c} -0, 01\\$
図 2	25 14時50分	50 秒前征	後の測位	了解	の変	化(UTC	時間])		

(水没と同時に FIX 解である1がフロート解2に変化)

(3) 侵食実験、橋台/護岸部(観測局3)

観測局3の挙動を図26に示す。侵食の進行とともに、南東側へゆっくりと傾斜を開始し、しばらくその動きを継続した後に停止した。図27a~cは観測局3の時系列変位 グラフである。傾斜を開始した時間は図28のCSVファイルより15時07分39秒、傾斜を停止したのは図29のCSVファイルにおいて、標高に変化が無くなった時間と定義し15時11分3秒とした。写真内の時計は15時11分台を示している。観測局のア ンテナの水没はなかったため、測位解は全てFIXしている。



図 26 観測局 3 の挙動





図 27a 観測局3の東西方向時系列変位グラフ (上;全観測時間の結果、下;傾斜観測時の拡大グラフ)





図 27b 観測局3の南北方向時系列変位グラフ (上;全観測時間の結果、下;傾斜観測時の拡大グラフ)





図 27c 観測局3の標高時系列変位グラフ (上;全観測時間の結果、下;傾斜観測時の拡大グラフ)

abka 🖅 🗄 २・८・8	+ +	侵1	§実験(観測局 3)集	西·南北.xlsx - Excel	<u>~</u>		山口範洋 囨	- 0	/×
ファイル ホーム 挿入 描画 🗸	ページ レイアウト 数式	データ 校閲	表示 ヘルプ	Acrobat の 実行	うしたい作業を入力し	ってください	Ġ	共有 ワコ:	メント
標準 改ページ ページ パージ ユーザー設定 プレビュー レイアウト のビュー	 ✓ ルーラー ✓ 数式バー ✓ 目盛線 ✓ 見出し 	ス−ム 100% 選択i ま	範囲に合わせて 新し	よいウィンドウ 整列 ウイン を開く 西	○ 分割 ○ 分割 ○ 内割	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ウィンドウの 切り替え ・	マクロ マクロ	
ブックの表示	表示	χ-γ			ウイン	やり		マクロ	^
F11624 \cdot : \times \checkmark f_x									~
А	В	С	D	E	F	G	Н	1	
11612 2021/02/04-15:07:31.000000	11611	0.06213333	-0.0045934	-0.0307					
11613 2021/02/04-15:07:32.000000	11612	0.05989776	-0.00454626	-0.0314					
11614 2021/02/04-15:07:33.000000	11613	0.06055098	-0.00284236	-0.0303					
11615 2021/02/04-15:07:34.000000	11614	0.06070162	-0.00460794	-0.0285					
11616 2021/02/04-15:07:35.000000	11615	0.06303879	-0.00365524	-0.0278					
11617 2021/02/04-15:07:36.000000	11616	0.06410212	-0.00244308	-0.0278					
11618 2021/02/04-15:07:37.000000	11617	0.06276478	-0.00349738	-0.0309					
11619 2021/02/04-15:07:38.000000	11618	0.06408216	-0.00254107	-0.0294					
11620 2021/02/04-15:07:39.000000	11619	0.06422006	-0.00236505	-0.0355					
11621 2021/02/04-15:07:40.000000	11620	0.06309325	-0.00489098	-0.0307					
11622 2021/02/04-15:07:41.000000	11621	0.06425817	-0.00267898	-0.0289					
11623 2021/02/04-15:07:42.000000	11622	0.0619210	-0.00363168	-0.0293					
11624 2021/02/04-15:07:43.000000	11623	0.06480799	-0.00248480	-0.0278					
11625 2021/02/04-15:07:44.000000	11624	0.06437251	-0.00362074	-0.0330					
11626 2021/02/04-15:07:45.000000	11625	0.06504027	-0.00334854	-0.0303					
11627 2021/02/04-15:07:46.000000	11626	0.06527436	-0.00370238	-0.0268					
11628 2021/02/04-15:07:47.000000	11627	0.06542861	-0.00444818	-0.0274					
1 区民大限(観測向3)	(+)				4	FFE	m <u> </u>		10096

● 19 F (1 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -	* *	侵	食実験(観測局3)東福	雪·南北.xlsx - Excel	<u> </u>		山口範洋 困	- 0	×
ファイル ホーム 挿入 描画 ^	ページ レイアウト 数式	データ 校閲	表示ヘルプ	Acrobat り 実行	うしたい作業を入力し	てください	Ê	共有 ロコメ	いて
標準 改ページ ページ ユーザー設定 プレビュー レイアウト のビュー	 ✓ ルーラー ✓ 数式バー ✓ 目盛線 ✓ 見出し 	Q ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	第一日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	トラート 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	日分割 下り枠の 図表示しない 定・ ■再表示		ウインドワの 元に戻す 切り替え・	マクロ マクロ	
ブックの表示	表示	ズーム			ウインド	ウ		マクロ	^
F11624 · : × ✓ fx									~
A	В	С	D	E	F	G	н	1	
11816 2021/02/04-15:10:55.000000	11815	0.23014587	-0.00493331	-0.0193333					
11817 2021/02/04-15:10:56.000000	11816	0.23422326	-0.00545765	-0.0193333					
11818 2021/02/04-15:10:57.000000	11817	0.23427411	-0.00771318	-0.0460000					
11819 2021/02/04-15:10:58.000000	11818	0.23554975	-0.00746275	-0.0193333					
11820 2021/02/04-15:10:59.000000	11819	0.24222197	-0.00627044	-0.0193333					
11821 2021/02/04-15:11:00.000000	11820	0.24116225	-0.00646281	-0.0459000					
11822 2021/02/04-15:11:01.000000	11821	0.24349762	-0.00602001	-0.0193333					
11823 2021/02/04-15:11:02.000000	11822	0.24130196	-0.00577689	-0.0416000					
11824 2021/02/04-15:11:03.000000	11823	0.24013884	-0.00747899	-0.0193333					
11825 2021/02/04-15:11:04.000000	11824	0.24251774	-0.00582042	-0.0193333					
11826 2021/02/04-15:11:05.000000	11825	0.24872177	-0.00392043	-0.0193333					
11827 2021/02/04-15:11:06.000000	11826	0.25338708	-0.00456453	-0.0193333					
11828 2021/02/04-15:11:07.000000	11827	0.25438873	-0.00415623	-0.0193333					
11829 2021/02/04-15:11:08.000000	11828	0.25334897	-0.00425060	-0.0193333					
11830 2021/02/04-15:11:09.000000	11829	0.25258503	-0.00399295	-0.0193333					
11831 2021/02/04-15:11:10.000000	11830	0.25650996	-0.00326160	-0.0193333					
11832 2021/02/04-15:11:11.000000 侵食実験(観測局 3)	+ 11831	0.25554463	-0.00449372	-0.0193333	•				۲ ۲

図 28 CSV ファイルより抽出した傾斜停止時間

(4) 侵食実験、橋台(観測局4)

観測局3の挙動を図29に示す。侵食は進行したものの、橋台部に変位は現れなかった。図30の観測局4の時系列変位グラフ、図31のCSVファイルデータにおいても変化は観測されていない。



図 29 観測局 4 の挙動 (上;実験開始時、下;実験終了時)







図 30 観測局4の時系列変位グラフ

	abora 💷 🖪 ୨・୯ - ୧	s • •		侵食実験(観測局	4) .xlsx - Excel	°	¢	山口 範洋 🖾	/×
77	イル <u>ホーム</u> 挿入 描画	ページ レイアウト 数	式 データ 校閲	表示 ヘルプ	Acrobat 🔎	実行したい作業を入力し	てください	ය	共有 ロコメント
BÅ	▲ 浙ゴシック かけけ □ -	• 11 • A* A*	=== %. ?	ユーザー定義	- 条件付き		翻挿入 ·		
102	в г ⊡ • ⊞ •	× · A · ≦ ·		≝· <u>₩</u> ·% 7	* 左害 *	書式設定。 スタイル・	田書式 -	◆ ** J1ルター * 選択 *	
2	リップボード に フォント	. n.	356	5 数值	rs.	スタイル	セル	編集	^
11	$\gamma \rightarrow i \times \checkmark f_x$								*
	A	В	С	D	E	F	G	н	1
1	2021/02/04-11:54:00.000000	0	0	0	0				
2	2021/02/04-11:54:01.000000	1	0.0004536	0.00072403	-0.0006				
3	2021/02/04-11:54:02.000000	2	0.0002613	0.00178374	0.0002				
4	2021/02/04-11:54:03.000000	3	0.0005008	0.00295960	0.0049				
5	2021/02/04-11:54:04.000000	4	0.0010180	-0.00051351	0.0048				
6	2021/02/04-11:54:05.000000	5	-0.0003285	0.00139359	0.0077				
7	2021/02/04-11:54:06.000000	6	0.0014479	0.00460363	0.0091				
8	2021/02/04-11:54:07.000000	7	0.0000236	0.00111778	0.0046				
9	2021/02/04-11:54:08.000000	8	-0.0009164	0.00151335	0.0022				
10	2021/02/04-11:54:09.000000	9	-0.0005843	0.00113955	0.0082				
11	2021/02/04-11:54:10.000000	10	0.0009363	-0.00141536	0.0066				
12	2021/02/04-11:54:11.000000	11	-0.0001307	0.00186358	0.0088				
13	2021/02/04-11:54:12.000000	12	-0.0000980	1.9960E-05	0.0066				
14	2021/02/04-11:54:13.000000	13	-0.0005861	0.00062965	-0.0018				
15	2021/02/04-11:54:14.000000	14	-0.0017420	0.00096714	0.0067				
16	2021/02/04-11:54:15.000000	15	0.0012429	0.00209405	0.0072				
17	2021/02/04-11:54:16.000000	16	0.0009182	-0.00100345	0.0021	e la l			*

କାଇକେ 💷 🗄 ୨୦୦-୫୦୦			侵食実験(観測局4)	.xlsx - Excel	<u> </u>		山口 範洋	. –		×
ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイフ	7ウト 数式	データ 校閲	表示 ヘルプ	Acrobat の実行	うしたい作業を入力して	てください		ピ 共1		シト
Image: Second state Image: Second state	A* A* Ξ - 7 * Ξ	= = ≫ · p	標準 - □□ - % 9	- 条件付き デ 高	ーブルとして セルの 書式設定。 スタイル。	日本 部 御 御 歌 前 除 ・ 一 一 書 式 ・	∑ · A ↓ Z ↓ 並べ替えと フィルター・	 検索と 選択・		
クリップボード に フォント	rs.	配置	た 数値	rs.	スタイル	セル	編集			~
112909 • : × 🗸 fr										*
А	В	С	D	E	F	G		н	I	
12894 2021/02/04-15:29:47.000000	12947	0.0013953	0.00634926	-0.0084						
12895 2021/02/04-15:29:48.000000	12948	-0.0002324	0.00637464	-0.0018						
12896 2021/02/04-15:29:49.000000	12949	0.0017927	0.00779912	-0.0061						
12897 2021/02/04-15:29:50.000000	12950	- <mark>0.</mark> 0007060	0.00555262	-0.0085						
12898 2021/02/04-15:29:51.000000	12951	0.0011213	0.00650713	-0.0128						
12899 2021/02/04-15:29:52.000000	12952	0.0013245	0.00850680	-0.0018						
12900 2021/02/04-15:29:53.000000	12953	0.0023062	0.00881711	-0.0018						
12901 2021/02/04-15:29:54.000000	12954	- <mark>0.</mark> 0017421	0.00647804	-0.0083						
12902 2021/02/04-15:29:55.000000	12955	0.0003392	0.00717669	-0.0129						
12903 2021/02/04-15:29:56.000000	12956	0.0011794	0.00629119	-0.0018						
12904 2021/02/04-15:29:57.000000	12957	-0.0010889	0.00818195	-0.0076						
12905 2021/02/04-15:29:58.000000	12958	0.0012574	0.00617324	-0.0018						
12906 2021/02/04-15:29:59.000000	12959	-0.0002705	0.00668856	-0.0061						
12907										
12908										
12909										
12910 信念実験(観測局4) (4)				:	4			_		

図 31 CSV ファイル(上;実験開始時、下;実験終了時)

(5) 侵食実験、一般部(観測局5)

観測局5の挙動を図32に示す。観測局5を設置した単管位置より上部の法面まで侵 食は進行したものの、観測局5に変位は現れなかった。図33の観測局5の時系列変位 グラフ、図34のCSVファイルデータにおいても変化は観測されていない。



221 231 40) 戸 市 分 37 / 回 ア ···

図 32 観測局 5 の挙動 (上;実験開始時、下;実験終了時)







図 33 観測局 5 の時系列変位グラフ

	自動保存 🖲 土	0 🖪 9 · C · 9	®		侵食実験(観測局	5).xlsx - Excel	°~ .		山口範洋 困	-	
ファ	PTN ホーム	挿入 描画	ページ レイアウト 数	式 データ 校開	B 表示 ヘルプ	Acrobat 🔎	実行したい作業を入力し	てください	ß	共有	1 <xc< td=""></xc<>
Ré		游ゴシック B I <u>U</u> + 三 +	• 11 • A [^] A [*]	= <u>=</u> = ≫. = = = <u>=</u> =	きや 標準 回・ G- % 9	 ◆ ◆	テーブルとして セルの 書式設定 マスタイル・	翻挿入 · 堅削除 · 囲書式 ·	∑ · A Z Z · Z k k k k k k k k k k k k k k		
ク	リップボード ら	フォント	k G	配置	5 数值	6	スタイル	セル	編集		^
J1	17 *	: 🗙 🗸 fi	2949110								~
		А	В	С	D	Е	F	G	н	1	-
1	2021/02/0	4-12:11:30.000000	0	0	0	0					
2	2021/02/04	4-12:11:31.000000	1	0.00104156	0.00060427	-0.0003					
3	2021/02/04	4-12:11:32.000000	2	0.00144445	-0.00192707	0.004					
4	2021/02/0	4-12:11:33.000000	3	0.00097447	-0.00172929	0.0013					
5	2021/02/04	4-12:11:38.000000	8	-0.00092542	-0.00103615	0.0056					
6	2021/02/0	4-12:11:39.000000	9	-0.00043548	-0.00113594	0.0052					
7	2021/02/0	4-12:11:40.000000	10	-0.00198874	-0.00224831	0.0016					
8	2021/02/04	4-12:11:41.000000	11	0.00080026	-0.00108148	0.0067					
9	2021/02/04	4-12:11:42.000000	12	-0.00118127	-0.0012902	0.0068					
10	2021/02/04	4-12:11:43.000000	13	-0.00019958	-0.00097988	0.0059					
11	2021/02/04	4-12:11:44.000000	14	0.00021233	-0.00096173	0.0039					
12	2021/02/04	4-12:11:45.000000	15	0.00014152	0.00119581	-0.0031					
13	2021/02/04	4-12:11:46.000000	16	0.00068411	-0.00064961	0.0043					
14	2021/02/04	4-12:11:47.000000	17	-0.00022867	0.00188353	-0.0023798					
15	2021/02/04	4-12:11:48.000000	18	0.000646	-0.00033569	0.003					
16	2021/02/0	4-12:11:49.000000	19	0.00266925	0.0005789	0.0067					
17	2021/02/0	4-12·11·50.000000	20	5.807E-05	-0.00021594	0.0015	1 4				

白動	ike 🕡 🗄 🏷 🤆 🖇	÷ ÷		侵食実験(観測局5)	.xlsx - Excel	A .		山口 範洋	m –		/×
ファイル	/ <u>ホーム</u> 挿入 描画 ペ	ージ レイアウト 数式	データ 校閲	表示 ヘルプ	Acrobat の 実行	うしたい作業を入力し	てください		ピ 共有	j 🖓 🖓	メント
開かけ		$ \begin{array}{c c} \bullet & 11 & \bullet & A^* & A^* \\ \hline \bullet & \bullet & A & \bullet & \hline & & \\ \hline \bullet & \bullet & A & \bullet & \hline & & \\ \hline \bullet & \bullet & A & \bullet & \hline & & \\ \hline \end{array} $		標準 · 109 - % 9 ·	▼ → 0 →0 条件付き テ 書式 ▼ 書	ーブルとして セルの 試設定 マスタイル マ	翻挿入 → 222 削除 → 目書式 →	∑ - A ▼ Z ↓ 並べ替えと フィルター・	検索と選択・		
9999			NUM	IN BY BY	(8)	A91/2	CIV	和来			
J1184	$42 \cdot \vdots \times \checkmark f_x$										~
	A	В	С	D	E	F	G		Н	1	-
1826	2021/02/04-15:29:44.000000	11894	0.00277997	-0.00138267	-0.0023798						
.1827	2021/02/04-15:29:45.000000	11895	0.00205234	-0.00194883	-0.0023798						
1828	2021/02/04-15:29:46.000000	11896	0.00178014	-0.00128107	-0.0023798						
.1829	2021/02/04-15:29:47.000000	11897	0.00433505	0.00023960	-0.0023798						
1830	2021/02/04-15:29:48.000000	11898	0.00201964	-0.00010521	-0.0023798						
1831	2021/02/04-15:29:49.000000	11899	0.00199788	-0.00071310	-0.0023798						
.1832	2021/02/04-15:29:50.000000	11900	0.00164404	-0.00094719	-0.0023798						
1833	2021/02/04-15:29:51.000000	11901	0.00349127	0.00010531	-0.0023798						
1834	2021/02/04-15:29:52.000000	11902	0.00403567	-0.00123022	-0.0023798						
.1835	2021/02/04-15:29:53.000000	11903	0.00387780	-0.00150423	-0.0023798						
.1836	2021/02/04-15:29:54.000000	11904	0.00177101	0.00168033	-0.0023798						
1837	2021/02/04-15:29:55.000000	11905	0.00178555	0.00024863	-0.0023798						
1838	2021/02/04-15:29:56.000000	11906	0.00137003	-0.00078932	-0.0023798						
.1839	2021/02/04-15:29:57.000000	11907	0.00184543	0.00054259	-0.0108000						
1840	2021/02/04-15:29:58.000000	11908	0.00056797	-0.00021774	-0.0023798						
1841	2021/02/04-15:29:59.000000	11909	-0.00037741	-0.00135188	-0.0063000						
1842		+				4					⊢ Ψ F

図 34 CSV ファイル(上;実験開始時、下;実験終了時)

(補足) 観測局5に傾斜や横転が観測されなかった理由について

当初、プラスチック杭の観測拱5を取付けて観測を予定していたが、プラスチック 杭は短く、観測局は周りの櫓や手すりより低い位置に配置されることとなる。観測局 が廻りの櫓や手すりより低い位置に配置された場合、観測時に櫓や手すりを介した衛 星電波のマルチパスが発生し、測位精度の劣化が想定される。そのため観測局を手す りの上部に配置されるよう、実験開始直前に2mの単管を準備いただき観測局6①を 取付け、法面への埋込みを行った。しかし法面地盤が柔らかく、天端から20cmの埋 込みでは、単管が直立姿勢を保てず、結果埋込み長が天端から75cm、法面下地盤の 下25cm(図35)まで到達した。この理由により観測局5の傾斜や転倒は観測されな かった。



図 35 2 m 単管の埋込み長

(6) 侵食実験、一般部(観測局6①):追加実験

 一般部に残された法面に観測局6①を設置した。設置場所は手すりから20cm 流水 側で、埋込み長は20cm である。観測局6①の挙動を図36に示す。14時59分59秒 に観測を開始し、侵食が観測局6①まで進行した段階で観測局は傾斜した。傾斜が観 測された時間は図37のCSVファイルより15時06分10秒である。図38は観測局6 ①の時系列変位グラフである。写真内の時計は15時06分台を示している。



図 36 観測局 6 ①の挙動 (左;実験開始時、右;傾斜時)

自動保存 ● 12 🗒 り - 🤍 - 島 - マ	:	浸食実験 (観測局③(1)) .xlsx - Excel						ша 🗱 🛞 🖪	í –	0	×
ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト	数式 データ	校開 君	販示 ヘルプ	Acrob	oat ,	♀ 検索			🖻 共有	P JX	ント
Image: State		• ₽ Ξ ₫•	標準 6 個 ~ % 9	~ €0 _09	100 条件を 100 テーブル 100 セルの	持書式 - ルとして書式設定 - スタイル -	∰挿入 ~ 堅削除 ~ ■書式 ~	∑ ~ ZV ▼ * ZV ↓ 並べ替えと 検索と ◆ ~ フィルター × 選択 ×	71 77	1000 初密 度 *	
クリップボード 🛯 フォント	四 配置	F2	数值	ß		スタイル	セル	編集	アイデア	秘密度	~
J371 • : ≻ ✓ ƒr											~
АВ	С	D	E		F	G	н	1	J	K	
355 2021/02/04-15:06:02.000000 369	0.039674	-0.0619036	5	0							
356 2021/02/04-15:06:03.000000 370	0.0425809	-0.0606588	3	0							
357 2021/02/04-15:06:04.000000 371	0.039674	-0.0619036	õ	0							
358 2021/02/04-15:06:05.000000 372	0.0388102	-0.0621359)	0							
359 2021/02/04-15:06:06.000000 373	0.0374965	-0.0620724	l.	0							
360 2021/02/04-15:06:07.000000 374	0.040153	-0.0595519)	0							
361 2021/02/04-15:06:08.000000 375	0.0394562	-0.0624716	5	0							
362 2021/02/04-15:06:09.000000 376	0.0239033	-0.0571606	5	0							
363 2021/02/04-15:06:10.000000 377	-0.0261479	0.014266	5	0							
364 2021/02/04-15:06:11.000000 378	-0.0254765	0.015558	3	0							
365 2021/02/04-15:06:12.000000 379	-0.0259084	0.0154419)	0							
366 2021/02/04-15:06:13.000000 380	-0.0264382	0.0153457	1	0							
367 2021/02/04-15:06:14.000000 381	-0.0284451	0.0135093	3	0							
368 2021/02/04-15:06:15.000000 382	-0.0261044	0.0154818	3	0							
369 2021/02/04-15:06:16.000000 383	-0.0274544	0.0163691	L	0							
370 2021/02/04-15:06:17.000000 384	-0.0253586	0.0156361	L.	0							
2712021/02/04 15:06:19 000000 285	0.0270670	0.0147506	:	0					-	7	•

図 37 CSV ファイル







図 38 観測局 6 ①の時系列変位グラフ

【観測局の挙動と水位・水深との関連】

(1) 越水実験

観測局1は、14時1分41秒に越水に伴う堤内地側の侵食が進み天端部の一部の崩壊 とともに堤内地側に転落、水没した(図39)。



図39 観測局1の時系列変位グラフ(標高)

観測局2は、14時43分5秒に傾斜・沈下が確認された後、14時50分52秒に堤内地側に 転落・水没した(図40)。



図40 観測局2の時系列変位グラフ(標高)

図41は越水実験時の水位変化、図42は越水実験時の水深変化である。14時1分41秒に 越水に伴う堤内地側の侵食が進み天端部の一部が崩壊し観測局1は堤内地側に転落、水 没したが、収録ビデオでもそれほど水流速度に変化は見られなかった(図中の紫線)。 堤防天端の侵食が発生しても流量を増やし越流水深を維持する操作を行っていたため、 堤内地側、堤外地側ともに水位、水深もそれほど大きな変化は見られなかった。



図41 越水実験時の水位変化



図42 越水実験時の水深変化

図 43 は越水実験時の水位変化、図 44 は越水実験時の水深変化である。14 時 20 分頃 (図中の緑線)、天端部の崩壊した箇所に上下流の越流水が集中し、天端部の崩壊が加 速され、堤外地側の水位、水深ともに下がっていく。堤内地側の水位、水深を維持する 操作を行ったため、天端部の侵食、決壊口は徐々に拡大を開始。14 時 50 分 52 秒に観 測局 2 が辛うじて観測を継続していた天端部の崩壊(図中の青線)とともに、上下流量 が一気に増え堤外地側の水位、水深ともに下降を開始した。



図 43 越水実験時の水位変化



図 44 越水実験時の水深変化

(2) 侵食実験

侵食実験で再実験等を行わずに顕著な変位を確認したのは観測局3である。観測局3 は侵食の進行とともに、南東側へゆっくりと傾斜を開始し、しばらくその動きを継続した 後に停止した。図45は観測局3の時系列変位グラフである。傾斜の開始時間は15時07 分39秒、傾斜が停止した時間は15時11分3秒である。



図 45 観測局3の時系列変位グラフ(標高)

図 46 は侵食実験時の水位変化、図 47 は侵食実験時の水深変化である。観測局 3 は 14 時 20 分頃の水位の上昇後に侵食が進み、15 時 07 分 39 秒(図中の青線)に南東側へ の傾斜を開始した。観測局 3 を設置した橋台/護岸部と観測局 4 を設置した橋台部の水 位・水深ともに同じ条件であったにも関わらず、橋台/護岸部のみの傾斜が確認され た。両者の法面の締固めの不均一性、護岸として設置した白いタイルが侵食を加速させ た等は考えられるが、その理由は不明である。



図 46 越水実験時の水位変化



図 47 侵食実験時の水深変化

【まとめ】

・GNSS 測位システムについて

今回使用した、小型低コスト GNSS 測位システムでの測位情報は、点の情報(座標) として出力され、測定精度は、約±1 cmであることが証明できた。これらの測位情報を時 系列でリアルタイムに観測し、観測局の挙動を精度高く捉えることができた。

・計測範囲、観測手法について

設置手法が、GNSS アンテナを取り付けた簡易なプラスチック杭または単管などを打ち込み、システムを稼働させるだけとなり、容易に設置が可能であることがわかった。堤防の崩壊場所の予想は困難であり広範囲の観測が必要となるため、設置手法も簡単な方が望ましく、本技術は有効である。また、GIS(地理情報システム)などと連携することで、広範囲な観測、各測位情報の連携により、面的に構造的な変状を捉えられる。

・検出する崩壊に対する設置手法について

越水実験の観測局1、2共に、侵食の進行後に天端部の崩壊とともに堤内地側に転 落、水没した。観測局1の挙動(図19a~c)は、天端部と観測局1が一緒に数秒かけて 堤内地側に滑り落ちた。一方、観測局2は侵食で残された小さな天端部の堤内地側の端 に留まり、変位を伴いながら観測を行っていた(図23a~c)。

天端部の侵食状況により、近距離にある観測局においても、約2分程度の変位観測時 間の差が見られた。今後、実装にあたっては、どのような侵食状況または、崩壊状況を 堤防の構造的な崩壊と定義して検知をしていくかによって、観測局の設置手法も検討す る必要があると考えれられる。例えば、観測局2のような挙動を測位で把握するために は、2Hz以上でのデータ取得、もしくは杭の埋込み長を長くし転落、水没までの時間を 稼ぐ等の工夫が考えられる。データの取得頻度は遠隔でも容易に設定変更は可能なた め、必要に応じて変更することで、効率的なデータの取得も可能である。

【現場実装へ向けた考察】

・盗難について

GNSS 観測機器は設置が簡単という反面、盗難もされやすいという課題がある。普段は コンクリートの基礎杭のみが敷設されており、杭の中央部に開けられた穴に必要な時に 観測局を差し込む等の運用上の対策も考えられる。

・自立型電源について

自立型のソーラーシステム等を採用することは可能だが、コストアップや観測局数に 制限が発生する。ソーラーシステムの仕様、出力や観測局側に準備したバッテリーなど の電源補完システムなどを組み込む必要があり、別途協議が必要となる。

以上